

# 平成25年度 事業報告書

自 平成25年1月1日  
至 平成25年12月31日

I	国際交流に関する事項	1頁～4頁
II	登録に関する事項	4頁～9頁
III	引退競走馬に関する事項	9頁～10頁
IV	総務に関する事項	11頁～13頁



公益財団法人 **ジャパン・スタッドブック・インターナショナル**  
*Japan Association for International Racing and Stud Book*

# 平成25年度 事業報告書

我が国の経済は円安等に伴う輸出環境の改善や我が国の経済政策、金融政策の効果なども相俟って回復傾向ながら、競馬を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況が続きました。

こうした状況の下、本財団は将来にわたる安定した事業運営基盤の構築を念頭に、引き続き経費の削減、業務の効率化を進めるとともに、広く一般市民の視点に立った事業運営の推進に取り組みました。

## I 国際交流に関する事項(公益目的事業1)

国際相互理解の促進に寄与するため、国内外の競馬に関する情報の収集・提供や競馬の技術等に関する海外との交流事業に取り組みました。

### 1 競馬に関する情報の収集及び提供事業

#### (1) 海外競馬関連情報の収集及び国内への提供

海外の競馬及び生産等に関する定期刊行物、書籍等から最新の話題やニュースを収集・翻訳・編集してホームページ等で広く一般に提供しました。

- ・海外競馬ニュース（毎週・ホームページ）
- ・海外競馬情報（毎月・ホームページに加え印刷物も配布）

#### (2) 我が国の競馬関連情報の海外への提供

(ア) 海外の競馬関係者ほか一般市民向けに、我が国の競馬及び軽種馬生産等に関する情報のほか、関係法令、競馬場、開催日程等の情報を外国語

版（英、仏、中、韓）ホームページ（「Japan Racing Journal」、「Horse Racing in Japan」等を含む。）で提供しました。

また、海外からのeメール・電話等での各種問合せに迅速に対応し情報提供を行いました。

(イ) 中央競馬のG1レース当日、G1レースのほか前後のレースを含めたレースのライブ映像をイギリス、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、中国（香港）に提供しました。併せて、アメリカ、カナダ向けに、G1レース当日の全12レースの映像提供を開始し、総計262レースのライブ映像を提供しました。

また、これらのレースに関する情報を外国語版ホームページに掲載しました。

## 2 競馬の技術等に関する海外との交流事業

### (1) 技術研修

#### (ア) 定期研修

5月28日から6月8日までの12日間にわたり、アジア競馬連盟(ARF)加盟国の競馬統括機関及び関係機関が公募し推薦する競馬開催執務員を対象に、我が国の競馬施行及び軽種馬生産全般に関する定期研修を実施しました。講師には我が国の競馬運営及び競馬開催に従事する専門家が当たりました。

- ・参加者：オーストラリア、中国（香港）、マレーシア、ニュージーランド、インド、韓国、シンガポールから各1名の計7名

#### (イ) 専門研修

8月27日から9月2日までの7日間にわたり、アジア競馬連盟加盟国、アジア地域の競馬発展途上国の競馬関係者等を対象に、裁決/ハン

デ及び血統管理に関するより高度な専門知識及び技術の向上を図るための専門研修を実施しました。講師には、我が国の競馬に携わるそれぞれの専門家が当たりました。

<参加者>

- ・裁決/ハンデ研修：インド、オーストラリア、シンガポールから各1名の計3名
- ・血統管理研修：ニュージーランド、オマーンから各1名の計2名

## (2) 技術指導

5月11日から5月16日までの6日間にわたり、モンゴル馬事スポーツ連盟代表者2名に対し血統登録制度について技術指導を行いました。

## (3) 国際交流行事等

(ア) 人馬の海外遠征を積極的に推進するため、海外遠征馬の出馬登録の窓口となり現地主催者との連絡及び調整を行い、遠征に係る事務手続き等について必要な支援を行いました。

3月のドバイワールドカップ及び12月の香港国際競走に際しては、本財団職員を現地に派遣し、現地主催者と日本からの遠征馬関係者との連絡調整にあたりました。

(イ) 我が国の国際レース取材のため来日する報道関係者に対し、資料・情報の提供、取材援助、滞在・移動等の包括的な支援を行いました。

## (4) 中国に関する事業

我が国の競馬に関する知識、技術を活かし、中国における人材育成、交流を図るための事業を下記のとおり実施しました。

- ・4月9日、中国馬業協会サラブレッド登記委員会との共催によるサラブレッドの血統登録を啓蒙するためのセミナー

- ・ 4月10日、北京市馬術運動協会との共催によるサラブレッド繁殖エコ  
ー診断技術研修
- ・ 5月18日から5日間、北海道市場において、中国側の購買者の窓口で  
ある中国牧工商集団職員に対する HBA トレーニングセール研修
- ・ 9月25日、中国牧工商集団と北京市馬術運動協会との共催によるサラ  
ブレッドの装蹄技術研修

## Ⅱ 登録に関する事項(公益目的事業2)

国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に  
対する国民の信頼の確保並びに国際相互理解の促進に寄与するため、軽種馬の  
厳正かつ公正な登録及び登録情報の国内外への提供等の事業に取り組みました。

### 1 軽種馬の登録事業

#### (1) 血統及び繁殖登録

##### (ア) 血統及び繁殖登録

登録規程、登録規程実施基準等に基づき登録業務を厳正に実施しまし  
た。血統登録の申込みは、内国産サラ系統（当歳）が前年より18頭増加  
し、輸入馬は25頭減少しました。

繁殖登録の申込みは、血統登録済みのサラ系統雌が前年より15頭減少  
しましたが、輸入馬雌は33頭増加し、雌馬全体では、19頭増加しました。

血統登録

区 分	品 種		平成 25 年度 申込頭数	平成 24 年度 申込頭数
内国産馬	サラ系統	当歳	6, 4 2 3	6, 4 0 5
		1 歳	2 5 9	3 0 8
		計	6, 6 8 2	6, 7 1 3
	アラ系統	当歳	6	8
		1 歳	0	0
		計	6	8
計		6, 6 8 8	6, 7 2 1	
輸入馬			1 0 6	1 3 1

繁殖登録

区 分	品 種	性	平成 25 年度 申込み頭数	平成 24 年度 申込み頭数
血統登録 済みの馬	サラ系統	雄	2 0	1 8
		雌	9 7 5	9 9 0
		計	9 9 5	1, 0 0 8
	アラ系統	雄	1	0
		雌	4	3
		計	5	3
輸入馬	雄		3	5
	雌		1 1 0	7 7
	計		1 1 3	8 2

(イ) DNA型検査

親子判定及び個体識別のためのDNA型検査を(公財)競走馬理化学研究所に委託しました。個体識別は、輸入馬、繁殖登録(雄)等を対象に実施しました。併せて、芦毛の遺伝子型検査についても実施しました。

区 分		平成 25 年度頭数	平成 24 年度頭数
親子判定	サラ系統	6, 6 9 9	6, 7 5 8
	アラ系統	6	8
個体識別	サラ系統	4 5 0	3 5 7
	アラ系統	1	0

## (2) 馬名登録

馬名登録実施基準に基づき実施した馬名登録は7,064件で、1歳での申込みが増加したことにより、前年より107件増加しました。

区 分	審査・登録件数	
	平成 25 年度	平成 24 年度
新規登録	6, 7 6 0	6, 6 5 4
馬名変更	1 8 2	1 8 8
外国競走馬	8	8
繁殖登録馬	1 1 4	1 0 7
計	7, 0 6 4	6, 9 5 7

## 2 血統登録等の情報の提供事業

### (1) 軽種馬の登録情報等の提供

血統情報、馬名情報等各種の情報について、本財団自らホームページ等で一般に公表したほか、競馬主催者団体をはじめ軽種馬生産者団体、マスコミなどに提供し、これらの機関等の最終制作物（ホームページ、印刷物等）を通じて国内外に広く公表しました。

### (2) 血統書の発行

登録した軽種馬を国際基準に基づき和文血統書（サラブレッド、その他の品種）、欧文血統書（サラブレッド、アラブ）に登載し、ホームページ等で国内外に広く公開し、その内容を随時更新しました。

### (3) 軽種馬統計等の発行・公開

ライフステージ別の統計データ、輸出入馬などのデータを取りまとめ、「軽種馬統計」を発行したほか、統計データをホームページや軽種馬生産者団体の印刷物（JBBA ニュース）を通じて公開し広く一般に提供しました。

### (4) 個体情報の提供

血統登録した馬については、「馬の健康手帳」に貼付される個体確認書を発行しました。また、そこに印刷された二次元バーコードの利用により、特徴図などの個体情報を提供しました。

## 3 海外の血統書統括機関との連携事業

### (1) 国際血統書委員会(ISBC)への参画

10月1日、英国ニューマーケットで国際血統書委員会年次会議が開催され、職員2名がアジア地域代表メンバーとして出席し、国際間の血統書承認に関する案件等について協議しました。

### (2) 承認を希望する国の調査、指導、査察等

7月2日から5日までの4日間にわたり、中国の登録業務に関して血統書の調査を行いました。

### (3) 軽種馬の輸出入に関する事務

#### (ア) 輸出証明書等の交付等

軽種馬の輸出入に当たり、相手国の血統書統括機関との間で、国際基準に基づいて、当該馬に係る輸出証明書及び馬の個体識別手帳（パスポート）の交付・受領等の事務を行いました。

#### (イ) 馬名の承認に関する事務

国際基準に基づいて出生国の承認が必要になっている馬名の登録及び変更の照会を相互に行い、審査し承認しました。

## 4 登録事業に関するシステム関係

### (1) システムの改善と適切な管理運用

血統登録、繁殖登録、馬名登録及び関係団体との情報交換等の各種業務を効率的、効果的に推進するため、必要なシステムの改善、適切な管理運用を行いました。

#### (ア) システムの改善等

インターネットを利用した「種付情報管理システム」(平成24年に構築)の利便性の向上を図るため、郵便番号を利用した種雌馬の飼養者住所の検索機能等の追加・改善を行いました。

また、登録情報のうち、性・毛色の入力方法や妊娠した輸出馬の種付証明書を欧文版に翻訳・印刷する機能等のシステムの改善及び機能追加を行うとともに、平成24年に構築した「電子馬名登録申込システム」の試験運用を開始しました。

#### (イ) 適切な管理運用

競馬主催者や生産者団体等との間で恒常的に行う登録情報や競馬情報の安定的なデータ送受信を図るため、システムの管理運用を適切に実施しました。

### (2) 血統書データベースシステムのサービス改善

血統・繁殖登録情報や種雄馬の繁殖成績情報を提供する血統書サービスについて、より多くの一般市民が閲覧できる環境にするため、タブレット端末やスマートフォンなど様々な閲覧ソフトに対応する環境に改善しました。

## 5 その他

### (1) マイクロチップの普及定着

軽種馬へのマイクロチップの埋め込みを普及定着させるため、生産牧場等がマイクロチップの埋め込みに要した費用の一部を補助しました。

### (2) 血統登録の審査技術水準の向上を目的とした研修会等への講師派遣等

関係団体等が行う技術研修会等に本財団職員を講師として派遣しました。  
また、本財団においても、審査技能の定着向上等を目的とした研修会等を開催しました。

#### (ア) 日本中央競馬会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(日本中央競馬会 3月19～20日、3月27日)

#### (イ) 地方競馬全国協会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(地方競馬全国協会 3月13日、3月29日)

#### (ウ) 日本中央競馬会職員一般研修

(日本中央競馬会 3月19日)

#### (エ) 全国装蹄競技大会審査委員

(日本装削蹄協会 10月20～22日)

## Ⅲ 引退競走馬に関する事業(公益目的事業3)

一般市民に引退競走馬と触れあう機会を提供し、馬の魅力を伝えるとともに、豊かな人間性の涵養さらには競馬に対する国民の信頼の確保に寄与するため、平成25年度から引退競走馬に関する事業を開始しました。

## 1 引退競走馬の繋養展示活動への助成

### (1) 繋養展示活動への助成

競走、繁殖、乗馬などの経済活動を終えた高齢の引退競走馬のうち、競走馬として活躍し、競馬の発展に貢献した名馬を繋養展示する所有者に対し対象馬の飼養費等に係る経費の一部を助成しました。

助成対象馬は、年度当初 228 頭で開始し、年度途中で死亡等により 30 頭減少し、年度末には 198 頭になりました。

区分		平成 25 年度当初 助成対象頭数
中央競馬重賞競走勝馬	新規申請	16
	継続申請	193
	計	209
地方競馬ダートグレード競走勝馬	新規申請	0
	継続申請	19
	計	19
計		228

### (2) 馬名プレートの提供

繋養展示する施設を訪れた一般市民に対して、助成を行う高齢の引退名馬の情報を分かりやすく伝えるため、馬名や血統、毛色、競走成績等を表示するプレート（2枚）を繋養展示する施設に提供しました。

## 2 引退競走馬の情報提供事業

引退競走馬に関するホームページを新たに開設し、一般市民に対して、繋養展示する施設・場所など、繋養展示活動の紹介や繋養展示している引退競走馬に関する情報を提供しました。

## IV 総務に関する事項

### 1 評議員会等の開催状況

#### (1) 評議員会

回	開催年月日	議決事項	当日の 議員数	当日の 出席数	議決の 結果
1	H25. 3. 14	①平成 24 年度事業報告（案）承認の件 （H24. 1. 4～12. 31）	9	8	全員賛成
		②平成 24 年度収支決算（案）承認の件 （H24. 1. 4～12. 31）	9	8	全員賛成
2	決議の省略 （H25. 7. 31）	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル役員慰労金支給規程の一部改正 （案）承認の件	8	8	全員賛成
3	H25. 12. 10	①平成 25 年度収支補正予算（案）承認の件	8	7	全員賛成
		②平成 26 年度事業計画（案）承認の件	8	7	全員賛成
		③平成 26 年度収支予算（案）承認の件	8	7	全員賛成
		④評議員の選任（案）承認の件	8	7	全員賛成

#### (2) 理事会

回	開催年月日	議決事項	当日の 理事数	当日の 出席数	議決の 結果
1	H25.2.28	①平成 24 年度事業報告（案）承認の件 （H24. 1. 4～12. 31）	6	6	全員賛成
		②平成 24 年度収支決算（案）承認の件 （H24. 1. 4～12. 31）	6	6	全員賛成
		③第 1 回評議員会の開催（案）承認の件 （報告事項）	6	6	全員賛成
		①理事長及び常務理事の職務の執行状況について			
2	H25.7.11	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル役員慰労金支給規程の一部改正（案）承認の件	6	6	全員賛成
		②公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル会計規程の一部改正（案）承認の件	6	6	全員賛成
		③第 2 回評議員会の開催（案）承認の件	6	6	全員賛成
3	決議の省略 （H25.11.14）	①第 3 回評議員会の開催（案）承認の件	6	6	全員賛成

4	H25.12.10	①平成 25 年度収支補正予算（案）承認の件	6	6	全員賛成
		②公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員退職手当支給規程の一部改正（案）承認の件	6	6	全員賛成
		③公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員就業規則の一部改正（案）承認の件	6	6	全員賛成
		④平成 26 年度事業計画（案）承認の件	6	6	全員賛成
		⑤平成 26 年度収支予算（案）承認の件	6	6	全員賛成
		⑥評議員の選任（案）承認の件 （報告事項）	6	6	全員賛成
		①理事長及び常務理事の職務の執行状況について			

## 2 評議員に関する事項

評議員（9名）

氏名	就任年月日	辞任年月日	備考
井出道雄	H24. 3. 14		日本中央競馬会 副理事長
岡本金彌	H24. 1. 4		
国本哲秀	H24. 1. 4	H25. 3. 15	日本馬主協会連合会 副会長
鈴木淑子	H24. 1. 4		
瀧島利雄	H24. 11. 27		地方競馬全国協会 理事
西村啓二	H24. 1. 4		(公社)日本軽種馬協会 副会長
古屋 明	H24. 1. 4		
本村凌二	H24. 1. 4		
森 保彦	H25. 12. 10		日本馬主協会連合会 会長
山本雅男	H24. 1. 4		

## 3 理事・監事に関する事項

役員（理事6名：監事2名）

職名	氏名	勤務	就任年月日	辞任年月日	備考
理事長	滝澤 勇	常勤	H23. 3. 26		
常務理事	山田隆雄	常勤	H23. 3. 24		
理事	石田生男	常勤	H22. 12. 1		
〃	酒井俊夫	非常勤	H23. 3. 19		地方競馬全国協会理事
〃	塩田 忠	常勤	H22. 12. 1		
〃	松本有幸	常勤	H22. 12. 1		

監 事	大城清也	非常勤	H22. 12. 1		公認会計士
”	小島 薫	非常勤	H24. 3. 14		日本中央競馬会理事

#### 4 顧問に関する事項

職 名	氏 名	勤 務	委嘱年月日	終了年月日	備 考
顧 問	小池尚明	非常勤	H23. 3. 26	H25. 3. 25	

#### 5 職員等に関する事項

組織	参与数	職員数	嘱託数	計	備考
総務部		5		5	
経営企画部	1	2		3	
国際業務部		6	1	7	
登録部		9	1	10	
情報システム部		2	1	3	
北海道事務所		4		4	
計	1	28	3	32	

#### 6 許可、認可及び承認に関する事項

特になし

#### 7 登記に関する事項

- (1) 評議員の変更登記 平成 25 年 3 月 19 日 東京法務局港出張所  
(2) 評議員の変更登記 平成 25 年 12 月 18 日 東京法務局港出張所

#### 8 助成金及び寄附金に関する事項

##### (1) 助成金

日本中央競馬会	440,619,296 円
地方競馬全国協会	69,609,352 円
(財)日本中央競馬会弘済会	25,080,000 円
(社)日本競走馬協会	1,000,000 円

##### (2) 寄附金

(公財)競走馬理化学研究所、(財)競馬・農林水産情報衛星通信機構	
(一社)東京馬主協会、日本馬主協会連合会、(公社)日本軽種馬協会	
(一社)日本調教師会、JRA ファシリティーズ(株)、(株)中央競馬ピーアール・センター	
日本スターティング・システム(株)他	5,880,385 円

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、附属明細書は作成しません。